



なつのがくも



本校ホームページ新
QRコードです。スマホ
などからも閲覧できま
す。ご活用ください。

第172号 (R5. 11. 30)

練馬区立光が丘夏の雲小学校

地域社会と協働して…

校長 宮林 伸之

82.5%

これは、今年度6年生が実施した全国学力・学習状況調査の質問項目の肯定的な回答の数値です。その質問項目とは…「読書は好きですか。」です。

この光が丘夏の雲小学校の数値は、東京都の平均よりも10%以上高くなっています。

どうして光が丘夏の雲小学校の子どもたちが「読書が好き」と答える数値が高いのか考えてみました。

1つは、子どもたちの身の回りにたくさんの本があり、触れる機会が多いからだと思います。各学級や学年のフロアーには本棚があります。図書室には約10000冊本があります。また、春日町図書館と連携し、様々な学習時に本を活用する機会を設けています。近くに光が丘図書館があることも要因かもしれません。

2つは、保護者の皆様が関係していると思います。お子さんが小さな頃から読み聞かせをしたり、ご自宅に本が常にある環境を整えたりと…子どもと本とのかかわりを積極的にしてきたのではないのでしょうか。

そして、3つは、読み聞かせボランティアの会「よむよむ」の皆様のおかげであると思います。月に一回、朝の時間に各学級で行う「あさよむ」、中休みに全校児童を対象に行う「なかよむ」の活動。「よむよむ」の皆様のこれらの活動が子どもたちに読書の楽しさや喜びを味わうことにつながっています。

ここで、ご報告です。この度、東京都教育委員会より、長年ボランティアで本校児童に対して読み聞かせの活動をしてくださった「読み聞かせボランティアの会 よむよむ」の皆様に対して、感謝状が贈られました。「よむよむ」の皆様には話を伺うと、この活動は開校2年目からボランティアの保護者の方によって読み聞かせ活動が継続されて、毎年新しい協力者も増えてきていると伺いました。陰で学校を支えてくださっていることに感謝いたします。



子どもの読書活動の重要性について文部科学省は、以下のように述べています。

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

また、第5次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和5年3月）では

読書のきっかけともなり得る様々な体験活動、学校図書館支援、読み聞かせ等の読書関連のイベントの実施等についても、こうした地域社会と協働した活動として促進を図ることが重要である。

読書活動の推進には、地域社会と協働することの重要性が述べられています。

本は「心のごちそう」と言われます。本を読めば頭が強く、心が豊かになります。時を超えたり国を超えたりすることができ、自由に旅することもできます。ぜひ、光が丘夏の雲小学校の子どもたちには、保護者や地域の皆様と協働して、読む喜び、学ぶ楽しさを味わってほしいと願っています。

話は変わりますが、様々な方とお会いすると「一年が経つのは早いね。」と、話がでます。

「光陰矢の如し」と言われるように、月日が経つのは早いものです。令和5年のカレンダーも残り一枚となりました。12月は、1年の締めくくりをして新しい年を迎える準備で慌ただしい時期です。慌ただしさに流されることなく、見通しをもった行動を心掛けていきます。